

中学生・高校生対象のプログラム（プログラム集1-④P22～P25）

## 子どもを育てるって？－ロールプレイをしてみましょう－

### 1 本時の目標

- (1)実際に経験したことのない親の役割演技を行うことにより、親としての立場の理解を深め、同時に子どもの気持ちも理解させる。
- (2)乳幼児期の親の養育態度が子どもの人格形成に大きく影響を与えていることに気付かせ、どのようにかかわればよいのかを考えさせる。

### 2 評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
親の働きかけと子どもの人格形成に関心をもち、親の役割について考えようとしている。	ロールプレイを通して、子どもに対する親の働きかけの方法や態度について思考を深めている。		

### 3 展開例（時間：50分程度）

	生徒の活動	教師の働きかけ、評価
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分が子どもの頃、親に理解されずに悲しい気持ちになったことはなかったか振り返る。</li> <li>○聞き分けがない子どもの対処に自分自身が困ったり、親が困っているのを見たことがあるか思い出してみる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもは、良い・悪いの区別なく自己主張することがある。時には、親として子どもの行動を受け止めにくいこともある。そのような場面を生徒自身の経験の中から振り返らせる。</li> </ul>
学習課題： ロールプレイをしてみよう		
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○親の対応の4つのタイプについて確認し、それぞれの場合の親と子どものせりふを考える。</li> <li>○グループで、お互いにせりふを発表し合う。</li> <li>○それぞれのタイプから1つずつ選んでロールプレイを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事例を提示する。（ワーク1の事例から1つを取り上げる。）</li> <li>○親の対応の仕方（態度）として、4つの典型的なタイプ「支配的」「拒否的」「服従的」「過保護的」に分類し、各自で親子のせりふを考えさせる。</li> <li>○生徒がせりふを書き終わるタイミングを見て、4～5人のグループを作る。</li> <li>○演技者と観察者の役割を決める。</li> </ul>

（「親の学習」プログラム集の手引から）

### ワーク1 子どもとの接し方を考えてみましょう。

次のような時に、どのように子どもと接したいと思いますか？  
親や近所の大人の立場になって、態度・言葉かけなどを書き込んでみましょう。  
また、グループごとに、親や子どもになって演じてみましょう。

#### ① 子どもがおもちゃを買ってほしいとねだっている。

子：「ね～、あれほしいよ～。買ってよ～。」

親：



#### ② 子どもがお皿を割ってしまった。

子：「あっ！」

親：



#### ③ 砂場で遊んでいた2人の子どもが、スコップの取り合いを始めた。

A子：「わたしが使いたい。」

B男：「ぼくが使ってたんだ。」

親：



### 資料 他にもこんなロールプレイをやってみましょう。

吹き出しにせりふを入れてみましょう。

☆お父さんが帰宅すると、部屋の隅で、お母さんが赤ちゃんを抱いて泣いています。  
一日中赤ちゃんが泣きやまず、どうしていいかわからないようです。

この子一日中泣いているの  
何がいけないのかしら…  
もう子育てに自信がなくな  
っちゃった…



（「親の学習」プログラム集から）